

発売中
100円

憲法9条を変えて、
「戦争する自衛隊」にして
いいのですか (憲法会議・発行)

建設反対の地元意見を聞いて討論

日田市議会は6月19日、新清掃センターの建設計画について議員間討論を行いました。日隈市議が、議会報告会での地元意見を紹介し、計画の問題点を指摘しました。

日隈市議は「建設予定地の決定
ありきで進められていることが問題」と強調し、建設予定地を考え直すことを提案しました。

他の議員は「昨年の4月に選定委員会を立ち上げた。進め方に問題は無い」「市長から建設予定地の決定について報告があり、これから市と地元が協議を進めなければならぬ」と発言しました。

大谷市議は「議会報告会で住民の意見を聞き、議会の役割をどう果たすかが問題になっている」と討論の方向を示しました。他の議員は「候補地が緑町に決定したばかり、建設予定地を再考する必要はない。どういった施設を作るかな

どを委員会で論議することが、議会の役割ではないか」と発言しました。総務環境委員会の議員は環境課から、調布市のように煙突からきれいな空気を排出する施設をつくりたいと聞いている。関心のない人が多い。いろいろな意見を聞いて判断したい」と述べました。

日隈市議は「候補地が緑町になつてることを一旦保留して、ごみの実態をとおして、市民全体で議論することが大事ではないか」と述べました。議長は、今回の議論をふまえて、引き続き委員会などで問題点を深めることを提案し、1時間の議員間討論を締めくくりました。



◀ごみ焼却炉建設計画の問題を指摘する日隈市議 (写真左)

6月議会議員間討論 ごみ焼却炉の建設計画

6月議会一般質問 子どもの貧困実態ただす

2割の子どもが就学援助を受けている

日隈市議が6月14日、子どもの貧困について質問。教育長は「就学援助を受けている子どもが2割いる」と答えました。

五和地区住民との意見交換会で、元教師から「弁当を作ってもらえない子どもがいる」「厳しい家庭状況の中で過ごしている子どもの割合は、どれくらいなのか」と、日田市の子どもの貧困が問題になりました。

日隈市議は、6月議会の一般質問で「子どもの貧困の実態をどのようにつまえているのか」と質問。教育長は「就学援助を受けた市内小中学校の児童生徒の割合は20.7%となっている。経済的な面や家庭環境の面で、きびしい状況に

ある児童生徒がいる」と答えました。

日隈市議が、子どもの生活実態調査について質問。教育長は「貧困の実態把握を目的とした調査は行っていない」と答えました。大阪市など府内13市町が連携して子どもの生活実態調査をしています。夕食はちゃんと食べているかなど、アンケートのやり方を工夫して、子どもの貧困実態を調査する必要がありますのではないのでしょうか。

日本共産党 創立96周年
演説会におこしくください

井土 衆議院議員
田村貴昭

7月15日(日)
午後1時30分開会